



—— 妊婦健診を受診された皆様へ ——

肝炎ウイルス検査 の 結果を確認しましたか？



妊娠初期の妊婦健診で実施する血液検査では、「肝炎ウイルス検査」が行われています。出産時の母子感染を防ぐために、母子手帳で「肝炎ウイルス検査」の結果を確認しましょう！

※肝炎ウイルスは、肝臓の病気(慢性肝炎、肝硬変、肝がん)を起こすウイルスで、母体が肝炎ウイルスに感染している場合、新生児や家族にも感染することがあります。

HBs 抗原が陽性(+)の場合は、B型肝炎ウイルスに感染しています

HCV 抗体が陽性(+)の場合は、C型肝炎ウイルスに感染している可能性があります

陰性(ー)の場合

陽性(+)の場合

今後も感染対策を続けましょう

【肝炎ウイルスに感染する可能性のない行為】

血液や体液が体内に入る可能性の低い行為
(例)会話、握手、食事、トイレ、お風呂など

【肝炎ウイルスに感染する可能性のある行為】

血液や体液が体内に入る可能性の高い行為
(例)ピアス、入れ墨、性交渉など
医療器具やかみそり、歯ブラシなどの共有は×

精密検査を
受けましょう

詳しくは裏面をご覧ください

妊娠健診の肝炎ウイルス検査を実施した結果、
HBs 抗原検査の結果が「陽性」または
HCV 抗体検査の結果が
「C型肝炎ウイルスに感染している可能性がある」と
言わされたときは…

お母さん



精密検査を
肝臓専門医療機関で受診

肝炎と診断されたら…

- 飲み薬や注射による治療で、ウイルスを排除したり、病気の進行や悪化を防ぐ。
- 妊娠中の抗ウイルス薬の服薬については、肝臓の専門医と相談してください。
(B型肝炎の場合は、抗ウイルス薬の服用を推奨する)
(場合があります。)

初回精密検査や定期検査、肝炎の治療の費用助成の制度があります。

検査費助成



治療費助成



赤ちゃん



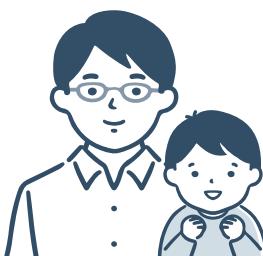
B型肝炎の母子感染予防 (予防接種)

HBV免疫グロブリン(1回)と
HBワクチン(3回)の接種

C型肝炎ウイルスの赤ちゃんへの
感染率は低いと言われています。

- 出生後の経過観察等については、肝臓の専門医と相談してください。

お父さん、同居家族



自治体実施の
肝炎ウイルス検査を
受検して
感染の有無を確認